

真鶴

## 自治会だより

皆、皆が住みよい町に

今年度の目標

スタートにあたって

真鶴町自治会連合会 会長 朝倉 隆

今年度も2ヶ月余りが経ちました  
が、自治会員の皆様にはお変わりなく  
お過ごしのこととご推察申し上げます。  
さて昨年6月号では、自治会にお  
ける喫緊の課題は大きく二つあること  
を申し上げました。一つ目に防災で、  
二つ目は環境美化(ゴミ収集)を取り上  
げました。

防災につきましては、特別委員会で  
議論を重ねて、単位自治会毎の地区防  
災計画をほぼ作成いたしました。皆様  
方の自治会でも総会・理事会などで防  
災計画の概要について説明があったも  
のと思います。関東大震災から100  
年目、最近のNHKの報道によれば  
益々地震活動が活発化するとの解説も  
ありました。今後とも「誰一人取り残  
さない」をキーワードに会員の皆様へ  
の防災計画のご理解や訓練を重ねてい  
きたいと思えます。そして新たな課題  
として災害発生時の避難行動要支援者  
(高齢の独居の方などの避難行動支援  
のあり方)についてです。高齢化が進行

している町内で如何に共助を發揮でき  
るか問われています。

次に環境美化につきましては、今年  
度の重点課題として特別委員会で議論  
を重ねているところです。3月に役場  
職員と町内13箇所のゴミ出しの実態調  
査を実施しました。真鶴は道路も狭  
く、起伏に富んだ地形で階段も多いこ  
とから、ゴミ回収業者泣かせの土地柄  
だと改めて認識しました。そんな中で  
各所で色々な工夫を皆様が行っているこ  
とも実感しました。皆様ゴミ出しの  
マナーをまもればガラスの被害も少な  
くなるのではないかと思います。し  
かし課題も見えてきましたので、行政  
と積極的に協議を行い一つ一つ着実に  
成果を出していきたいと思えます。  
今後とも自治会連合会の会員の皆様  
のご協力を賜り、「皆、皆が住みよい  
町に」を合言葉に微力ながら努力した  
いと思っております。どうか今年度も  
宜しくお願い申し上げます。

環境美化に

取り組みます

特別委員会

「会員の加入促進」「自治会活動の  
見える化」をキーワードに3年前に委  
員会を立ち上げました。長・中期的な  
課題について、毎月協議を進めてきま  
した。

昨年度は、単位自治会の防災計画を  
作成しました。

今年度は、「環境美化(ゴミ)」を  
テーマに進めていきます。環境美化・  
ごみ問題は、日々の生活に密着した・  
基本問題であり、古くて新しいテーマ  
でもあります。

まず、実態の把握から始め、ゴミの  
出し方、マナー・ルール、しいては減  
量、環境問題まで掘り下げていきたく  
と考えています。

身近なテーマなので、会員の皆さん  
のご意見もいただきたいと思えます。  
共に考え、行動し、住みやすい町にし  
ていきましょう。

委員会の内容については、自治  
会だより、ホームページ等でお知  
らせします。

文責：青木友晴

# 関東大震災100年目に考える

防災は、向こう三軒両隣・隣組が協力し合うことが基本です。これは、自治会活動のイロハの「イ」です。

年度当初の単位自治会の総会・理事会で防災計画について説明があったと思います。

昨年度、真鶴町津波・土砂災害ハザードマップを基に、各自治会の実情に合わせて作成したものです。

まず自分が住んでいる場所がハザードマップの対象になっているか、確認してください。次に、避難経路と避難場所の確認です。ハザードマップには載っていない家屋の倒壊や道路の亀裂、火災なども予想されます。 **事前の確認が肝心です**

また、単位自治会の防災計画には、消火器の設置場所、防災倉庫の備品についても載せてあります。

今年度は、単位自治会での防災訓練も計画しています。そのおりは、参加をお願いします。

訓練の結果によって、防災計画の見直しも行い、より実情に合った計画にしていきます。

**「備えあれば憂いなし！」**

広報部

寄稿

## 「防災、備える」

防災士 岩本 克美

関東大震災から9月1日で100年となります。

真鶴町にとっては、大きな被害を被った、とても身近な大災害です。

地震災害は、防ぐことができませんが、普段から備えることはできます。

備えるための参考になればと考え、寄稿させていただきました。



マグニチュード7.9を記録した関東大震災では、多くの建物が倒壊し、火災が発生し、津波も押し寄せて、私たちが暮らす真鶴町に大きな爪痕を残しました。このことは、読者の皆様もご存じの事と思いますが、『真鶴町史』に詳しく記録されていますので、被害状況をお示しします。（下表参照）

真鶴町史（資料編）638ページ 震災被害調査票

（小田原警察署調べ）

震災時の戸数		人口	死者数	負傷者	行方不明	計
真鶴村	822 戸	3,650 人	78 人	117 人	5 人	200 人
岩村	271 戸	1,515 人	41 人	88 人	8 人	137 人
建物の全壊		半壊	全焼	埋没	流出	計
真鶴村	49 軒	163 軒	467 軒	0 軒	9 軒	688 軒
岩村	91 軒	96 軒	0 軒	11 軒	50 軒	248 軒

当時の真鶴人口は 5,165 人 戸数は 1,093 戸  
地震による被害より、火災による被害があまりにも大きかった。

もし、関東大震災と同規模の地震が発生した場合、同じような被害が発生するとは限りませんが、なんの備えもせずいたら、同じような被害に遭遇することも充分考えられます。

では、どうしましょうか？ ……次号に「備える」について記述します。



家屋倒壊



根府川駅列車転落

(関東大震災時の真鶴の写真お持ちの方で、9月号に載せても良い方はご連絡下さい)

## 自治会連合会 ホームページ出来ました！！

このたび自治会連合会ではホームページ（以下HP）を制作し、4月1日より公開開始しましたのでお知らせします。

年4回発行の「自治会だより」でも活動内容等を紹介していますが、もっと自治会の活動内容を知って頂きたく、下記を目的とし試行錯誤しながら今回HPを開設しました。

- ・タイムリーに活動内容・情報を知って頂く
- ・単位自治会単独の活動内容も紹介
- ・「自治会だより」で紹介しきれない活動内容やトピックスの紹介
- ・過去の「自治会だより」もスマホやパソコンで見られるように
- ・自治会連合会主催・支援の活動予定お知らせ
- ・生活に役立つ便利情報の提供
- ・自治会連合会への要望等の吸い上げ

写真を多く掲載する事で活動実態が見え、より理解して頂けるよう、下記のような記事構成で始めていきます。皆様のご意見・要望を取り入れながら進化させていきたいと思っていますので是非ご活用下さい。

- ・自治会だより ・防犯パトロール ・成人学級 ・交通安全運動
- ・お祭り ・運動会 ・清掃活動 ・トピックス
- ・単位自治会の活動 ・連合会活動予定
- ・外部リンク（町役場HP、社会福祉協議会HP、観光協会HP 他）
- ・便利情報（町役場HPの下記情報ページへのリンク）

- 防災ハザードマップ ●ゴミ回収カレンダーとゴミの出し方 ●コミュニティバス時刻表



スマホからの閲覧は右のQRコードから →→→→→→  
 パソコン等からは <https://www.m-jichikai.com/>  
 またはGoogle検索等で、**真鶴町自治会** で閲覧できます。  
 また、ご要望等は下記アドレスまでお願いします。  
 ✉ [manaduru.jichikai@gmail.com](mailto:manaduru.jichikai@gmail.com)



### ご挨拶

真鶴町自治会連合会 会長 朝倉 隆  
 会員の皆様には、常日より各自治会での事業にご理解・ご支援を  
 賜り心より御礼申し上げます。  
 コロナの感染対策として約3年求められてきたマスク着用も3月18日  
 から個人の判断に委ねられました。また3月18日からは感染法上2類  
 相当から5類に移行されるなど、今後は個人個人の感染対策が求め  
 られる状況となります。

さて電子化・デジタル化が進んでから大分月日が経っ  
 たように思いますが、自治会連合会でもこの既ホームページを開設

(広報部 高瀬 哲夫)

# いれでいきます 部会の取り組み

## 教育体育部会

～教養を高める～

今年度の成人学級は、前期2回、後期2回、社会見学の計5回を企画しています。前期は、6月13日(火)、講座「真鶴の海中の様子と特徴を知ろう」 21日(火) 講座「地場産品の栄養素について学ぼう!」身近な食材を使ってできる料理」に実施します。すでにお知らせ済み

後期の日程・内容は未定。また、11月には、社会見学を予定しています。是非皆様の参加をお願いします。

健康増進と会員相互の親睦・交流を深める

今年度の体育行事は、ソフトバレーボール(6月11日開催)、町民運動会(10月8日開催)を予定



しています。町民運動会はコロナ対策を考慮し、従来と異なる内容になります。

会員・町民の参加により盛り上げていきましょう。

部長：池田正巳

## 防犯防災部会

「防犯パトロール」

例年同様、毎月27日(7、8月は除く)に実施致します。

昨年後半より巡回時に人と会う機会が増えるように時間帯の変更をしましたので、遠慮無くお声かけをお願い致します。

「防災訓練」

本年はコロナに伴う行動規制も解除されましたので、防災に関する講話・訓練などを計画致します。

その1つとして災害時の避難所設営について取り組んで来ましたが、今後は避難所運営についての講話並びに訓練の実施を計画します。

部長：飯田正人

## 広報部会

年4回発行(6月、9月、12月、3月)します。

部員全員で取材し、全員で記事を書くをモットーに、連合自治会・9つの単位自治会の活動、部会・特別委員会の活動の紹介、「知って知らない真鶴」自治会の取り組み、現状・課題などを取り上げていきたいと考えています。また、会員の皆様の投稿・寄稿、ご意見をお聞かせください。

6月号、9月号は、関東大震災100年を踏まえ、喫緊の課題である防災を取り上げます。

4月から、連合自治会のホームページを開設しました。自治会活動をタイムリーに、またより身近な自治会になるよう発信します。また会員相互の交流、会員の声を伝えたいと思います。是非、QRコードからご覧ください。

部長：青木友晴

## 編集後記

最近、地震が活発になっていきます。真鶴町は令和元年8月、津波災害警戒区域に指定されました。また、神奈川県くらし安全防災局、県土整備局の津波ハザードリスクによると、平成27年3月発表では、相模トラフ西側(真鶴)では、津波の高さは16・5メートルで、到達時間は3分と予想されています。地震発生から3分ですので余裕がないですね。

西自治会、東自治会、みさき自治会、岩中央自治会では、どう対応するか、現場での訓練が必要です。岩本克美(防災士)さんを講師に迎え、みんなで必要な心得を勉強し、「夏灯冬扇」(無益・無用)とならないよう頑張りましょう。

単位自治会の防災計画を必ず読んでください。

今回、寄稿していただいた岩本克美さんにお礼申し上げます。

(伴野芳久)

